

## 第54回

# 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「将棋の格言」です。

「格言」は有効な知見を短く印象的な言葉で表現したものです。将棋の格言には実際に役立つものもあれば、言葉遊びもあり、詰将棋にそのまま当てはまるとは限りません。フェアリーならなおさらです。しかし敢えて格言に焦点を当てると、将棋と詰将棋の共通点や相違点を知ることができます。

例えば「大駒は近づけて受けよ」という格言を考えましょう。これは「大駒は離して打て」と表裏の関係にあり、詰将棋でも中合が含まれる作で効果を実感できます。「金はとどめに残せ」は多くの場合そのまま当てはまりますが、意図的にその逆を作意に据え

ることがあります。「玉は下段に落とせ」は多くの作の解図に有効ですし、上に追う紛れが詰まないことの簡易的な判断にも使えます。同じ盤駒を使用している以上当然ですが、私たちは将棋の格言そのもの、あるいはそれに相当する経験則を詰将棋の創作や解図に利用しているのです。

ということ、今回出題する作品はどれも将棋の格言と関連が付けられています。①以外は格言を明示しますの

で、ヒントとしてご活用ください。

【ルール説明】

【協力詰（ばか詰）】先後協力して最短手数で受方玉を詰める

【協力自玉詰（ほか自殺詰）】先後協力して最短手数で攻方玉を詰める

【打歩】打歩詰以外の詰を失敗とする

【PWC】取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる。）

（補足）

(1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される

(2)位置交換の結果、相手駒が二歩や、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる

(3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす

(4)取られた玉は復元しないものとする

【出題作の説明と関連する格言】

①は協力詰で、持駒桂の枚数が伏せられています。詰むのは特定の枚数の場合だけです。詰むのは特定の枚数をお答えください。格言も伏せますので、よろしければ当ててください。

②格言「下段の香に力あり」

③格言「桂頭の玉、寄せにくし」

④格言「遠見の角に好手あり」

⑤格言「一步千金」。双方持駒なしなので、盤上の駒だけで詰めてください。今回の最難解作だと思います。

## 懸賞問題

▼締切6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail: [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com)

メール解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送ってください。

### ③ 神無三郎「籠車」

協力詰 79手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						銀	角	飛	一
				金	金	金	金	角	二
					歩		歩	歩	三
						歩		桂	四
			銀				桂		五
				歩				桂	六
								香	七
				歩		桂		桂	八
							王		九

持駒 飛

### ④ 神無三郎

協力白玉詰 46手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								桂	一
								金	二
								香	三
								歩	四
								桂	五
								桂	六
								角	七
									八
									九

持駒 飛角

### ⑤ たくぼん

PWC打歩協力詰 193手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

(白) なし

### ① 青木裕一

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂?

### ② 神無太郎

協力白玉詰 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香